



# まちかど ま インタビュー

## 町政施行80周年！

### これからの町に思うことは？

昭和15年2月29日の広野村議会で町政の施行が議決され、4月1日に広野町が誕生してから今年で80周年を迎えます。

震災などの逆境を乗り越えて、これからも長く続いていく広野町の未来に思うことをお聞きしました。



坂本 紀一さん  
(折木地区)

昭和15年4月1日の広野町政施行から今年で80周年。昭和は悲惨な戦争、平成は大震災と原発事故、令和に入つて先の見えないコロナウイルスの感染拡大、一方で戦後、我が国は高度成長により大発展を遂げた。まさに激動の80年だったと思う。

我が町は、大震災後10年目になり復興も進み、新生広野町が出来ている。こんな小さな町に高校が開校した。特に駅東の開発は想像もつかなかった。今後住民福祉の向上により、住みよい町づくりを期待します。



吉田 ゆかりさん  
(上浅見川地区)

町政施行80周年おめでとうですね。

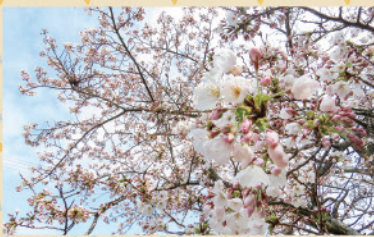
私は広野町に嫁いで十数年経ちますが、とても住みよい素敵な町だと思います。

町の皆様は優しく温かい方々ばかりなので、すぐに馴染むことができました。

また、新型コロナウイルスの対策として、マスクの配布の迅速な対応に感謝でいっぱいです。このような素敵な町が後世まで続くよう私も頑張りたいと思います。

## 編集後記

中国から始まった新型コロナウイルス感染症は、全世界に広がり、日々感染者数、死亡者数の増加が報道、諸外国では都市封鎖、外出禁止といった未曾有の対応が行われ、医療崩壊を恐れた国内に於いても検討されている。このように日々の生活の激変は、子どもなど社会的弱者に大きな影響を及ぼしています。特に子どもからのSOSに対し、寄り添い、言葉を聴くなど、正しい情報を伝え安心できる環境をつくること重要になります。私達は、感染拡大を防止する為、密接 密集 密閉を避け、不要不急の往来を控えましょう。



春を告げる桜

- 発行・編集責任者 長 北郷幹夫
- 議 長 北郷幹夫
- 広報委員会
- 委員長 阿部憲一
- 副委員長 渡邊正俊
- 委員 小磯利雄
- 委員 畑中大子
- 委員 北郷伯弘

次の定例会は6月です

